



岩出市水道事業ビジョン策定の趣旨

- 1-1. なぜこのビジョンを作ったのか 2
- 1-2. このビジョンの位置づけ 4

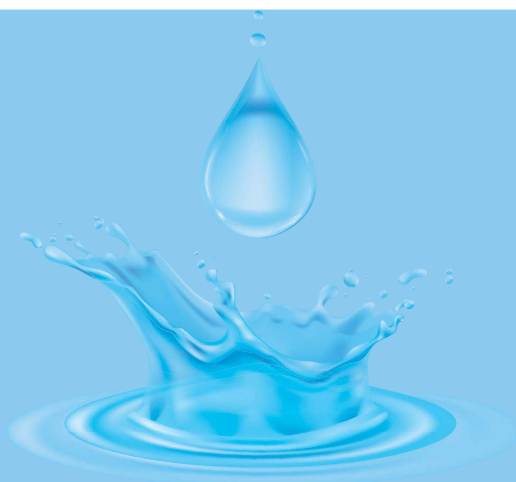
2

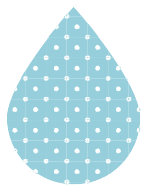
3

4

5

6





岩出市水道事業ビジョン 策定の趣旨

1-1. なぜこのビジョンを作ったのか

暮らしとともに～岩出市水道事業の発展～

緑豊かな山々と紀の川の清らかな流れに恵まれた私たちの岩出市では、毎日の暮らしに欠かせない水道が、今から60年以上前の昭和37(1962)年、町営の広域簡易水道としてスタートしました。

その後、人口が増え、暮らし方の変化により、家族の形も変化し、使う水の量も増えていきました。そのような変化に対応しながら、市民の皆さまに安全な水を安定してお届けするため、これまでに5回の拡張事業や変更を重ねてきました。

私たちは、これからも市民の皆さまの毎日の暮らしを支える、安全でおいしい水をお届けし続けたいと考えています。

今、水道が直面している課題

岩出市の水道において、優先的に取り組むべき課題があります。

● 人口減少と節水の影響

人口が減り始め、節水型のトイレや洗濯機が普及したことで、使われる水の量が減ってきています。水の使用量が減ると、水道料金の収入も減ってしまいます。

● 水道施設の老朽化

長年使ってきた浄水場や管路が古くなり、更新が必要な時期にきています。老朽化した施設や管路を計画的に新しくする必要があります。突然の故障で水が使えなくなることがないように、事前の対策が大切です。

● 地震への備えを万全に

巨大地震が起きた時にも、断水を防ぎ、継続して水を供給できるように、重要な水道施設の耐震化を進める必要があります。災害時でも市民の皆さまに安心して使っていただける水道を目指します。

**しっかりとした計画を立て、効率的に事業を進めることが、
これまで以上に大切になっています。**

国の方針と岩出市の取り組み

厚生労働省は、平成16(2004)年に今後の水道のあるべき姿を示した「水道事業ビジョン」を策定しました。その後、水道を取り巻く環境が大きく変化していることから、平成25(2013)年には、50年後、100年後の未来を見据えた「新水道ビジョン」が策定されました。

岩出市では、「新水道ビジョン」に基づき、平成28(2016)年に「岩出市水道事業ビジョン」を策定し、「いつまでも安全で安心して飲める岩出市の水道」の実現を目指してきました。

今回、ビジョン策定から10年が経過し、社会の状況も変わってきたため、新しい課題にもしっかりと対応できるように、ビジョンを改訂します。

2

3

4

5

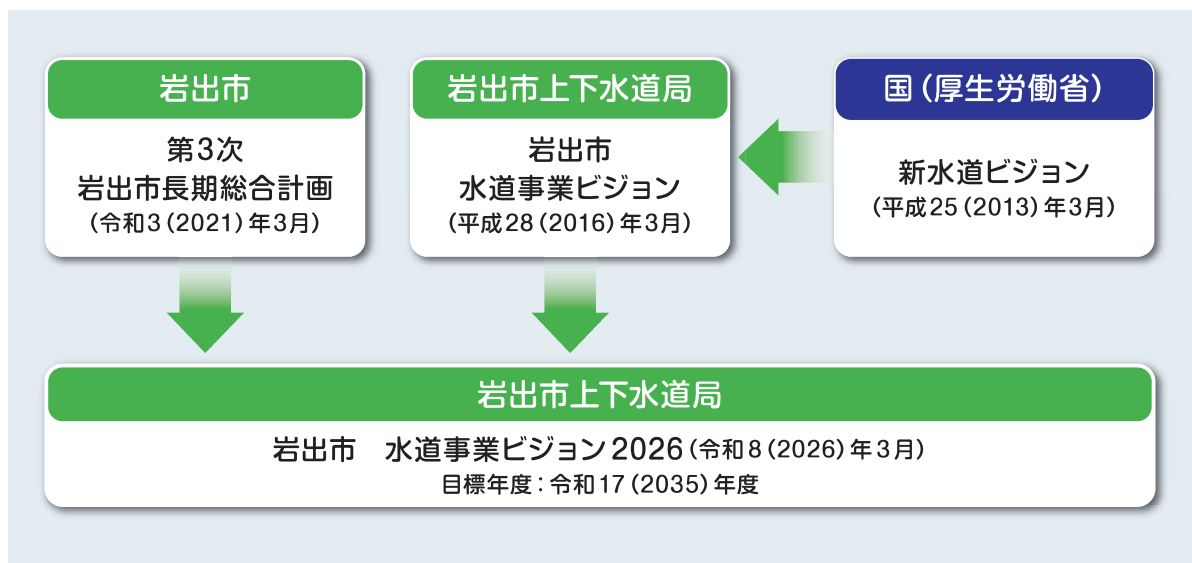
6

1-2. このビジョンの位置づけ

「岩出市水道事業ビジョン2026」は、岩出市の水道事業がこれから目指す方向性を示すものです。

岩出市全体の基本計画である「第3次岩出市長期総合計画」や、国の「新水道ビジョン」との整合性を保ちながら作成しています。

このビジョンに掲げた目標は、ひとつひとつ実現に向けて取り組んでいきます。また、財政状況や市民の皆さまのご意見、社会の変化を見ながら、定期的に見直しも行っていきます。



お子さんたちが
大人になっても、
ずっと安心して使える
水道を

私たちは、
次の世代へつながる水道づくりに取り組んでいます。